



士別ロータリークラブ

創立 1960・3・24 RI第2500地区

Vol. 14 No. 2527

2015-2016年度国際ロータリーのテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 国際ロータリー
会長 K. R. ラビンドラン

2500地区ホームページアドレス <http://rid2500.jp/>
士別ロータリークラブ <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

2015-2016年度士別ロータリーのスローガン

ロータリーを活かそう



羊と雲の丘から士別市街地を望む

- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:10
- 事務所 / 士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会長 / 伊藤優市 ■ 副会長 / 加藤 博
- 幹事 / 近井孝義

第2608回例会 2015年11月2日(月)

今日のプログラム ・ 普通例会 ・ 誕生祝い ・ 理事会

前回(10月26日)の記録 ・ 夜間例会 ・ ゲスト卓話

- ・ 司 会 奈良康弘会場監督
- ・ 斉 唱 それでこそロータリー
- ・ 本日の出席 会員48名 出席率100%
- ・ 本日の欠席

・ メークアップ

・ ビジター 士別市役所総務部長・中峰寿彰氏、同総務課長・鴻野弘志氏 (以上ゲスト卓話)

・ ニコニコBOX 細川博司 (葬儀終了の御礼) 累計 137,000円

例会予定

■11月例会日【ロータリー財団月間】

- 11月2日(月) 例会・理事会
- 11月9日(月) 例会
- 11月16日(月) 例会
- 11月23日(月) 休会 (法定休日: 勤労感謝の日)
- 11月30日(月) 夜間例会

■12月例会日【病氣予防と治療月間】

- 12月7日(月) 例会・年次総会・理事会
- 12月14日(月) 夜間例会・ファミリーパーティー
- 12月21日(月) 例会
- 12月28日(月) 特別休会

■会務報告

・・伊藤優市会長

●先日、「人口減少は悪いのか」を話題にした雑誌を読む機会がありました。

人口減少は社会が成熟するとともに波のように繰り返し訪れます。日本も3度の人口減少期を経験しているそうです。

一度目は縄文時代晩期です。大陸から水稻栽培の文化が到達し、食料事情が改善しました。

二度目は鎌倉、室町時代には日明貿易で外貨が流入、市場経済が発達しました。

三度目は江戸時代後期です。黒船が来航したことで近代工業国家の道が開かれました。

人口減少期は、技術革新が起き文化の花咲く時代です。人口減少は、イノベーションの時代に起きるとともに、現在の、生活の枠組みを根本から変える必要性に迫られます。

従来 of 職業が次々と変化し、暮らしが変わる未来へと変化していきます。

都市と地方の人口格差はどこでも起きていますが、地域の特産品作りなどとともに街の活性化につなげてほしいと思います。

人口が減ると自治体の税収も減ります。上下水道、電気などインフラ維持にもお金がかかります。

コンパクトシティ、スマートシティの考え方や独自の魅力を前面に出した都市計画が必要になるのではないのでしょうか。

新エネルギーと小さな街で、エコな暮らしの実現が進み、単純労働はロボットに置き換わられます。

日本の人口が減った時期の共通点は「人々のライフスタイルが変化した」ことですが、人口減少をどのように受けとめていくのかが問われる時代となっていきそうです。

●本日は士別市役所から総務部長の中峰寿彰氏、総務課長の鴻野弘志氏をゲスト講師に迎えました。テーマは「市庁舎の整備事業について」です。お忙しい中、卓話を引き受けていただきありがとうございます。

■幹事報告

近井孝義幹事

1. 士別中小企業勤労者福祉協会、稲毛幸雄委員長名にて「第39回勤労感謝祭の集い」の案内が来ております。開催11月20日（金）と成っており、当クラブより伊藤会長が出席致します。

2. 士別市政経懇話会「ひぶな会」より昼食交流会開催の案内が来ております。11月10日（火）12時10分～50分頃、当クラブから伊藤会長が出席致します。

3. 国際ロータリー第2500地区ガバナー東堂 明様名にて地区大会参加に対しますお礼状が届いております。

4. 国際ロータリー第2500地区ガバナーエレクト事務所開設のご案内が来ております。なお事務

所は、旭川東堂ガバナー事務所の中に設置されました。来年7月1日より2016～2017年度ガバナー事務所と成ります。

■ゲスト卓話

プログラム委員会

テーマ「本庁舎整備事業について」

講師：総務部長・中峰寿彰氏
総務課長・鴻野弘志氏



中峰寿彰総務部長



鴻野弘志総務課長

卓話の内容は、昭和39年に建築した士別市役所市庁舎の整備事業について、

・なぜ建設をするのか

―老朽化、狭隘化、新耐震基準未達成など

・事業の手順は

―改修・改築・既存施設活用、建設場所など基本計画の決定。建物の形状などの基本設計。工事着工に向けた実施設計。本体着工は平成30年を予定。事業費は整備手法によって32億円から44億円。

・施設の整備手法はどのようなものがあるのか

①改修＝現庁舎の耐震補強、建築内外装改修、設備改修を全面的に行い、継続利用を図る方式。整備を進めるにあたっては、仮庁舎への一斉移転が必要。

②改築＝現庁舎を解体し、新庁舎を建設する方式。

③既存施設を活用した分散化＝改修または改築に併せ、既存の公共施設などを活用し、市役所組織の一部を本庁舎と異なる場所に分散化することなど利便性や業務効率性に重点を置いた検討が必要。

・合併特例債の活用額はどのくらいになるのか

―事業費33億円の場合、合併特例債は約29億円。

・事業費実施全体のスケジュール

―平成27年度 基本計画の策定
―平成28年度 基本設計の実施
―平成29年度 実施設計の実施
―平成30・31年度 本体工事（改修または改築）
―平成32年度 仮庁舎または既存庁舎の解体、外構工事